

様へ

説明医師

説明看護師(外来)

看護師(病棟)

月日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
経過	入院日(前日入院)	当日(術前)	当日(術後)	術後1日目	術後2日目
目標	心身ともに安定した状態で手術を受けることができる		術後合併症を起こすことなく経過する		
検査	身長体重測定			採血 尿検査 レントゲン	
食事	・夕食後絶食 ・21時以後の飲水は麻酔科の指示	絶飲食		昼食から流動食	昼食から三分粥食
	朝食は 自宅			流動食	粥食
処置・観察	リストバンドを装着します 夕食後に浣腸をします	午前中に診察があります 手術室で尿の管を挿入します	手術後以下の挿入物装着物があります ・酸素マスク → ・心電図モニター → ・点滴の管 → ・背中チューブ(鎮痛剤) ・創部の管(ドレーン) ・尿管	取り外します 取り外します 夕方点滴終了後針を抜きます 取り外します	創の確認を行います
	状況に合わせて、体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります				
点滴・内服	持参薬、お薬手帳を看護師にお渡しください 就寝前に下剤を服用します	午後の手術でOS-1の指示のない方は午前中から点滴があります 点滴用の針を挿入します	手術後の点滴があります	点滴が朝、夕にあります 血栓予防薬の皮下注射があります	
	弾性ストッキングのサイズを合わせます 制限ありません シャワーできます オムツ、ナプキンをお預かりします	以下の手術準備をします ・手術着に着替え ・弾性ストッキング装着 ・入れ歯、アクセサリ一、時計等の取り外し	床上安静となります *膝の曲げ伸ばし、足首の運動は行ってください	座位が できます 可能なら午後より歩行 できます 全身を清拭します	歩行できます
説明	医師・麻酔科医より ・治療計画、手術について ・麻酔について 病棟、手術室看護師より ・入院生活について ・手術について 薬剤師より ・持参薬確認 ・使用薬剤について	看護師より(家族の方へ) ・手術室の場所と入室方法について		看護師より ・早期離床について	

*** 入院に際して、この用紙を必ずお持ちください**

* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。

* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともあります。

月日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
経過	術後3日目	術後4日目	術後5日目	術後6日目	退院日 術後7日目
目標	術後合併症を起こすことなく経過する		リンパ浮腫について理解ができる	退院後の生活上の注意点が理解できる	
検査	 採血			 採血	
食事	昼食から五粥食	昼食から全粥食	昼食から常食		採血・診察の結果問題なければ朝食後退院
	  	  	  	  	
処置・観察	医師によりドレーンの排液量に応じ適時管を抜きます	医師によりドレーンの排液量に応じ適時管を抜きます		 診察があります	退院時にリストバンドを外します
	 状況に合わせて、体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります				
点滴・内服	 血栓予防薬の皮下注射があります				
行動	 腹部の管が抜けており、熱がなければシャワーができます				
	入浴は入院中にはできません  腹部に管のある方は全身清拭をします				
説明			 看護師より ・リンパ浮腫について	 医師より ・退院後の治療計画、療養上の留意点について	 看護師より ・退院後の療養生活について (退院療養計画書をお渡しします)

手術後の傷の痛みを教えてください

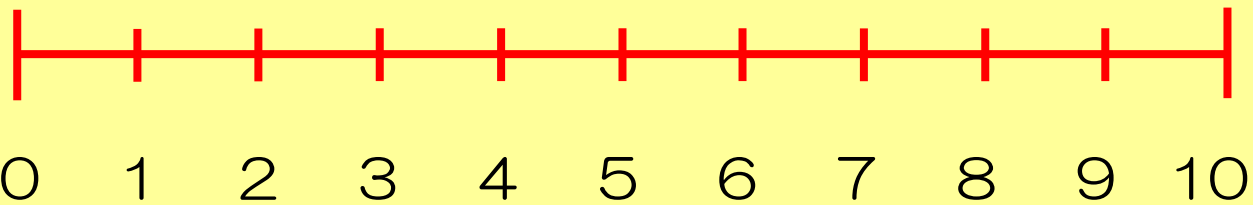
講習を受けた麻酔科医・看護師・薬剤師・臨床工学士で構成された術後疼痛管理チーム（APS）チームが、患者さんの傷の痛みに対して、手術前から計画を立て、傷の痛みが軽減するよう取り組んでまいります。

実際の傷の痛みに対して、NRS(Numerical Rating Scale)：痛みの評価スケールを使用します。0 から 10 までの 11 段階です。



手術後、どの程度の痛みかを数値で教えてください

10 を最大の痛みとした場合
今の痛みはどのあたりですか



痛みがない

中等度の痛み

最大の痛み

APS チームがサポートします。

よろしくお願いします。

